

T53

共 6 页, 第 1 页

## 浙 江 大 学

二〇〇三年攻读硕士学位研究生入学考试试题

考试科目 日语语言与文化 (日) 编号 422

注意:答案必须写在答题纸上,写在试卷或草稿纸上均无效。

说明:答题均使用日语。

一. 词汇认读与释意:(每题各 10 分, 共 20 分)

1. 写出划线部分汉字部分读音, 并释意:(每题 1 分, 共 10 分)

- (1)風情 (2)白髪 (3)行方 (4)馴染み (5)堪能  
(6)一期一会 (7)懸念 (8)地場産業 (9)一姫二太郎 (10)競り合い

2. 写出划线部分的汉字, 并释意:(每题 1 分, 共 10 分)

- (1)よろん調査 (2)ちかん (3)はくしゃをかける (4)いっけんらくちやく (5)きどうに乗せる  
(6)きゅうくつ (7)むじゃき (8)こうきしん (9)いちずに (10)しょうおう

二. 填空:(1, 2 题各 20 分, 第 3 题 10 分, 共 50 分)

1. 选择填入括号内的适当的词, 用符号回答:(每题 1 分, 共 20 分)

- (1) 苦しい状況で助け合う人々の( )話を聞いて、感動した。  
a 心得た b 心細い c 心あたたまる d 心がけた
- (2) 仮病を( )して会社を休むものではない。  
a なったり b したり c つかったり d かかったり
- (3) 山田さんにあした九時に来るように、もう一度念を( )おいてください。  
a つけて b とって c いれて d おして
- (4) これからの政治家はもっと環境問題を( )すべきだ。  
a 重大 b 重要 c 重視 d 重点
- (5) 彼がこの事件の犯人であるということはだれの目にも( )である。  
a 明確 b 明白 c 適切 d 適當
- (6) 担当者が( )おりませんので、後ほどこちらからご連絡させていただきます。  
a あらかじめ b あらゆる c あいにく d あいもかわらず
- (7) 今日一日では結論が出そうにありませんので、日を( )、もう一度話し合いたいと思います。  
a 改めて b 変わって c 直して d 正して
- (8) ちょっとほめたら( )また思い出すなんて、単純な人だ。  
a 図にあたって b 図にのって c 図をみて d 図にしめして
- (9) 無理だとわかっている、一度はやってみないと、あきらめが( )。  
a つくせない b つかない c つかわない d つとまらない
- (10) 彼は一年も前のけんかを( )に持って、私と口をきこうとしない。  
a 肝 b 地 c 根 d 本
- (11) 山田さんは背が高く、ひげを( )いる。  
a はやして b つけて c そだてて d しげって
- (12) 拾ってきた子犬は、すぐに私に( )、しっぽを振りながら後について歩くようになった。  
a まもって b なついて c あこがれて d したって
- (13) 図書館は静かで、本のページを( )音しかしなかった。  
a めくる b たたむ c あたる d ひらく



(14) 天気がいいので公園を ( ) 歩いた。

a ぶらぶら b ふらふら c ばらばら d はらはら

(15) テストの時間が短くて、もう一度見直す ( ) がなかった。

a のこり b あまり c まとまり d よゆう

(16) ようやく完成の ( ) がたった。

a めもり b めど c めやす d めじるし

(17) 医学の発展のためとはいえ、( ) 動物を殺すのは避けなければならない。

a むやみに b むじゃきに c むりに d むちゃくちゃに

(18) 久しぶりに会った友達と話が ( )、帰りが遅くなった。

a すすんで b はねて c とんで d はずんで

(19) 先生は、できない生徒にも ( ) よく教えた。

a 我慢 b 根気 c 辛抱 d 努力

(20) 空腹と疲労で ( ) になってしまった。

a だらだら b たらたら c ぶらぶら d ぶらぶら

2. 选择填入括号内的适当的语法形态，用符号回答：（每题1分，共20分）

(1) これは私の仕事だから、気は進まないが ( ) をえない。

a やらず b やらぬ c やらざる d やらじ

(2) 彼はあき ( ) 性格ですから、どうせ1週間ぐらいしか続かないでしょう。

a っぽい b がちな c いい d たい

(3) 子供は泣きたいのをこらえていたのか、母親の顔を見る ( ) わっと泣き出した。

a なり b なら c たら d たり

(4) 私が意見を述べようとする、彼はだまっていると ( ) 厳しい目で私をにらみつけた。

a 言わんとする b 言わんばかりの c 言いたげ d 言えそう

(5) 大切な客を相手に、彼は見当はずれのことばかり言うので、心配で ( )。

a 見てもかまわなかった b 見てもしょうがなかった c 見てあげなかった d 見ていられなかった

(6) 結婚、就職といった人生の岐道で、理性的、合理的な判断だけで満足できる人は ( )。

a 多くないのだろうか b 少ないのではないだろうか c 多いのだろうか d 多いのではないだろうか

(7) 友人に相談した ( )、役に立つ答えは得られなかった。

a ものを b もので c ものの d もの

(8) 君が事実を知ろうが ( ) が、私には関係ない。

a 知らない b 知れず c 知らぬ d 知るまい

(9) そのことはたいした問題じゃないのだから、悩む ( ) よ。

a ことがない b ことはない c のがない d のはない

(10) 地震が起こるかもしれないと聞いてから、一日 ( ) ゆっくり寝られる日はなかった。

a にとって b によって c として d とともに

(11) 核戦争が起こることは想像する ( ) 恐ろしい。

a さえ b こそ c だに d とは

(12) 周囲の心配を ( )、息子は戦地へ取材に行ってしまった。

a さておき b のぞいて c よそに d およばず

(13) どんなにたくさん資格をとった ( )、生かさなければ、ないのと同じだ。

a つもりで b ところで c とあつて d といったら

(14) 医者 ( )、いつも人の生命を自分の名声より大切にしなければならない。

a たる者 b に限る者 c になった者 d のもの

(15) 以前のように走れない ( )、自分の足で歩けるようになりたい。

a までに b までも c ままで d までもなく



- (16) 経験豊かな君 ( )、推薦できる人はほかにいない。  
a でおいて b をおいて c であって d をあって
- (17) きこのうの花見は、好天気 ( ) 大勢の人が来ていた。  
a によると b にとって c とあいまって d という
- (18) その飛行機は離陸する ( )、エンジンが故障し、空港に引き返した。  
a とたん b そばから c や否や d に際して
- (19) 新聞 ( ) 誤りを報じてしまうこともあるが、そのときは必ず訂正しなければならない。  
a としたら b といえども c にとって d にしてみれば
- (20) いつもの ( )、連休は高速道路も遊園地もひどく込んでいた。  
a ことに b ことから c ことなしに d ことながら
3. 从  中选择正确的副词填入 ( ) 中, 用符号回答。(每题 1 分, 共 10 分)

a まさか b けっきょく c なかなか d おそらく e せっかく  
f 必ずしも g たちまち h さっそく i いきなり j 案外

- (1) 何も言わずに ( ) 泣き出したのでびっくりしました。  
(2) 会議は ( ) 終わらない。  
(3) ( ) 捕まえてきたものを逃してやるのがいやだ。  
(4) その車は飛ぶように走って行って ( ) 見えなくなりました。  
(5) 値段のわりには ( ) いい品物だ。  
(6) みんなが ( ) 賛成するとは限らない。  
(7) 病気だと聞いてはいたが、( ) 入院したとは思わなかった。  
(8) 買ってきたカメラで ( ) 写してみた。  
(9) ( ) そんなことはないでしょう。  
(10) 忙しくて ( ) その映画は見なかった。

### 三. 文学知识: (每题各 2 分, 共 10 分)

- (1) 指出下列 A~D 作家的作品, 用イ~ニ符号回答:

A. 井上靖 B. 芥川竜之介 C. 志賀直哉 D. 島崎藤村  
イ. 破壊 ロ. 天平の薔 ハ. 暗夜行路 ニ. 羅生門

- (2) 指出下列 A~D 作家的作品, 用イ~ニ符号回答:

A. 与謝野晶子 B. 尾崎紅葉 C. 樋口一葉 D. 坪内逍遙  
イ. 金色夜叉 ロ. 小説真髓 ハ. みだれ髪 ニ. にごりえ

- (3) 指出下列作者中属于「耽美派」的作者, 用符号回答:

A. 森鷗外 B. 谷崎潤一郎 C. 夏目漱石 D. 太宰治

- (4) 请说明「あはれ」と「をかし」的異同。

- (5) 请举例说明「季語」。

### 四. 古文释译: (每题各 2 分, 共 10 分) 说明: 将下列句子译成现代日语。

- (1) 夏草や兵どもが夢の跡。 (2) 閑けさや岩にしみ入る蟬の声。  
(3) 象潟や雨に西施がねぶの花。 (4) 行く春や鳥鳴き魚の目は涙。  
(5) よもすがら秋風聞くや裏の山。

### 五. 阅读和理解: (每题各 15 分, 共 30 分)

- (1) 題:

私の周囲には“現職教員”という別名をもつ大学院生が大勢いる。その人たちとの日頃のおしゃべりからもれ伝わる教育現場は、ひどく窮屈で、時に非人間的と思えることさえある。ある小学校では、食事の間は一言も口をきいてはならない、という決まりがある



が、『これは、始めのうちはなかなか難しいけど、何度か教師が注意をしていると、そのうち黙って食べられるようになる。そうすることで、生徒に難しいことでもやればできるという自信を持たせたい①』、という教育的配慮②のもとに行われているのだそうだ。そういうえば、「子供たちに自主的に取り組ませる（取り組む+させる）」という言語的矛盾③ともいえる表現を教師は、頻繁に使う。この場合、自主的という言葉は、「やる」「やらない」を含めて、子供自身がすべてを決めるときに、本来の意味にかなうと思うのだが。

これ④は極端な例外的ケースだと願いたい。が、子供の教育に携わる者の中には、正し  
両側に狭い幅で柵をもうけ、正しい道からそれないように、正しい目的地に最短距離で到  
着するように導いてやるのが、大人の使命であると確信している人が少なからずいる。  
⑤、そのような操縦は子供に「自分が自分でなくなる」危うさを感じさせることにつ  
ながりかねないことを、大人は十分に認識すべきである。自尊感情は、個人に、失敗する  
自由、やらない自由、できなくて悔しがる自由など、いろんな自由があって、自分で何か  
を決定し、少しずつ自分が自分自身になじんだうえで生まれてくる、「これでやっていけ  
る自信」のようなものなのだと思う。したがって、子供の側にどのように生きるか、どの  
ように行動するか、どのように感じるかの自由がほとんど残されていないとき、自尊感情  
は育ちようがないであろう。

これまでの研究によれば、大人の介入が大きければ大きいほど、子供の自尊感情は低く、うまくできるようになるようとする意欲が乏しく、自分で自分を制御することが困難であるという。自尊感情は、幼いときの養育者のあたたかなしつけの態度と関連しているという研究もある。これら研究が示唆するところは、周囲の大人があたたかく見守り、子供に任せる部分を大きくすることが、自尊感情が育つうえで最低限必要だ、ということである。

そもそも、大人の介入によって、成功を体験させることができるのは、人間が生涯において繰り広げる多様な能力や行動のほんのわずかである。そのほんのわずかのプレゼントを送るために、子供自身の自律を損ねてはならない。⑥

を**送る**ために、**子供自身の自律を損ねてはならない**。⑥  
むろん、**そうする**⑦ためには、子供を大人の「自尊感情」を高めるための道具にせず、  
大人自身が自律していなければならないのだが。

問1 ① 1 自信を持たせた。 2 大学院生 3 教師 4 子供  
1 筆者 2 大学院生 3 教師 4 子供

1筆者 2大学院生 3教師 4子供  
問2 ②「教育的配慮」とあるが、どのように配慮しているのか。  
2食事のマナーを身に

1 子供が教師の指示に従うように  
3 間違った行動を取らせないように

2 食事のマナーを身につけさせるように  
4 子供に自信をつけさせるように

問3③「言語的矛盾」とあるが、何と何が矛盾しているのか。

問3 ③「言語的矛盾」とあるが、何と何の矛盾か。

- 1 自主的に決めるということと、強制的にさせるということ
- 2 難しいことをさせるということと、自信を持たせるということ
- 3 大学院生であることと、現職教員であるということ
- 4 「やる」と決めることと、「やらない」と決めること

問4④「これ」とは何を指すか。

1 矛盾した表現を使うこと。  
3 子供に決定をさせること

2 食事中に話をさせないこと。  
4 難しいことをさせること

問5 (⑤)に入る適切な言葉を下から選びなさい。

問5 (5) に入る適当な言葉を選んでください。

1 だから      2 しかし      3 つまり      4 そのため

問5 (5)に入る適当な語句を1つ選びなさい。1だから 2しかし 3つまり 4そのため

問6 ⑥「そのほんのわずかのプレゼントを送るために、子供自身の自律を損ねてはならぬ」と主張する著者が言いたいことは次のうちどれか。

ない」とあるが、ここで、筆者が言いたいことは次のうちどれか。

1 大人が子供から自律するためには、子供の行動に介入するのはやめたほうがいい。  
2 大人が自分自身の満足のために、子供の行動に介入するのはやめたほうがいい。



3 子供に成功を体験させるためには、大人が子供の行動に介入したほうがいい。  
 4 子供を自律させるためには、大人が積極的に子供の行動に介入したほうがいい。  
 問7 ⑦「そうする」とは、何を指すか。

- 1 成功を体験させる                      2 大人が介入する  
 3 子供にプレゼントを送る              4 子供の自尊感情を育てる

問8 この文章で筆者が取り上げているテーマとして考えられるのは、次のうちどれか。

- 1 子供に対する大人の関わり方について      2 自尊感情とはどのようなものかについて  
 3 大人が子供に教えられることについて      4 自律とはどういう状態について

問9 この文章で筆者が一番言いたいことだと考えられるものは、次のうちどれか。

- 1 子供が自主的に行動するのを干渉しないで見守るべきだ  
 2 子供がより早く目的地に着けるように道を作ってやるべきだ  
 3 大人が子供に対してやれることは何もない  
 4 大人が力を貸して子供の自尊感情を育てるべきだ

(2) 題：

今からもう十年あまりも前になる。南太平洋のトンガでの調査を終えて、東京の我が家に帰ってきて奇妙に思ったことがいくつかあった。

そのうちの一つは日本人がやたらに忙しがっていることであつた。駅では人々が先を争って階段を駆け上がり①、プラットホームにとまっている電車に飛び乗ろうとする。わずかに三分か五分も待てば次の電車が来るというのに。

ラジオでは交通情報というのをやっていて、どこどこ何丁目の交差点では信号何回待ち②などと教えてくれる。さらに精神安定剤のコマーシャルは「お忙しい毎日、いらいらの連続であなたの心と体はすっかり疲れています。この薬を飲んで眠れば、翌朝のお目覚めはすっきり」などとたいそう親切である。

どれもこれも、南太平洋帰りの私にはびっくりすることばかりであつた。このことを会う人ごとに話すと、「いいですねえ。むこうはのんびりしていて」とやや③な返事が返ってくるのが落ちであつた。

来るか来ないか分からないトラックに乗せてもらおうと、半日でも一日でも道端で辛抱強く待つことに慣らされたり、時間がもったいない④という観念などない人々の中での暮らしがある程度身についてしまった私には、なぜ東京の人々はこんなに忙しそうに働いているのか、なぜ精神安定剤の世話になるほどいらいらしなければいけないのか、さっぱり分からなかった。

大げさに言えば、これは私が自分の生まれ育った文化から受けた、はじめての大きな文化的衝撃⑤であつた。ちなみに、当時は日本の経済が成長期に向かって突進していた1960年代の勇ましい日本であつた。

それから数年、どうした理由から日本人は⑥という批判が急に高まってきた。週休二日制を取り入れようとする動きと並んで、余暇をいかに過ごすかというような問題があちこちで取り上げられはじめた。ちょうどそのころ⑦、ある雑誌で遊びの特集をする企画があり、私はそこで遊びの分布図を作る作業にたずさわった。またその後、世界各地の余暇を研究する会に参加したり、遊びや余暇についての小さな文章を書く機会を通じて、南太平洋から東京に帰ってきたときの経験を織り交ぜながら、もう少し自分なりに整理してみたいと思うようになった。

問1 ①で、なぜ「先を争って階段を駆け上がる」ことになるのですか。

- A 次の電車まで3分か5分も待たなければならないから  
 B 毎日いらいらの連続で心も体もすっかり疲れているため  
 C 何事においても、誰にも負けたくないため



D時間がもったいないという観念が支配的であるため

問2②で、誰が「信号を何回も待つ」のですか。

- A歩いて交差点を渡ろうとするため  
B車を運転している人  
C電車で飛び乗ろうとする人  
Dさきを争って階段を駆け上がる人

問3③にはどんな言葉が入ると思われますか。

- A嘲笑的な  
B軽蔑的な  
C好意的な  
D同情的な

問4④のような意味を表すことわざはどれですか。

- A果報は寝て待て  
B急がば回れ  
C時は金なり  
D光陰矢のごとし

問5⑤で、なぜ「文化的衝撃であった」のですか。

- A日本の様子が、自分の想像していたものとはあまりにもかけ離れてい  
B帰国した当時が、日本の経済成長期であったため  
C忙しそうに働く日本人の姿を見て、これが本来の自分の姿であると気づいたため  
D南太平洋のトンガでの生活習慣しか知らなかった自分が恥ずかしくなったため

問6⑥の中にはどんな言葉が入ると思われますか。

- A遊びすぎだ  
B休みすぎだ  
C余暇を取りすぎだ  
D働きすぎだ

問7⑦の「ちょうどそのころ」とはいつごろですか。

- A今から10年あまり前  
Bこの人が日本へ帰国してから数年後  
C日本が経済成長期に向かって突進していたころ  
D1960年代の日本は経済成長を目指して大きく前進を続けていた

問8本文の内容と合わないものはどれですか。

- A南太平洋での生活と東京の生活とはあまりにもかけ離れており、驚くことばかりであった。  
B忙しすぎる日本人は、精神の休養と余暇を求めている。  
C東京のような忙しい都市で生活をしていると、精神安定剤の世話にならざるをえない。  
D1960年代の日本は経済成長を目指して大きく前進を続けていた。

六、专业方向知识题 说明：日本语言文学方向考生答A项；日本文化方向考生答B项。

A项：：（<1.>每题各2分；<2.>每题各4分；共30分）

### 1. 概念及知识释意

- イ。「湯桶読み」と「重箱読み」とあるが、例をあげて説明してみよ。  
ロ。「婉曲表現」とあるが、その表現と機能について例をあげて説明してみよ。  
ハ。「言語過程説」で独自の言語理論で文法体系を構築しようとする学者のなかで、代表的な存在は誰か、その名を挙げて答えよ。  
ニ。「和製英語」とはなにか、例をあげて説明してみよ。  
ホ。「慣用語」とはなにか、例をあげて説明してみよ。

### 2. 回答问题

- イ。「男（おとこ）」と「男性（だんせい）」、「女（おんな）」と「女性（じょせい）」の使用上における微妙な違いを指摘し、例をあげてみよ。  
ロ。「ホテル」、「民宿」、「旅館」の意味と使用上の違いを指摘してみよ。  
ハ。述語が「行く」、「帰る」、「戻る」などの語が使われる場合、「へ」と「に」を使われ  
たりする現象があるが、なぜか、説明してみよ。  
ニ。日本語の「語彙」の特徴を簡単に説明してみよ。  
ホ。日本語の「表記法」について簡単に説明してみよ。

B项：（<1.>题11分；<2.>题9分；<3.>题10分；共30分）

1. 良時代の仏教の特徴について述べよ。  
2. 平安時代における文化転換の内因について述べよ。  
3. 江戸時代の町人文化が興った原因を述べよ。